

■ 概要

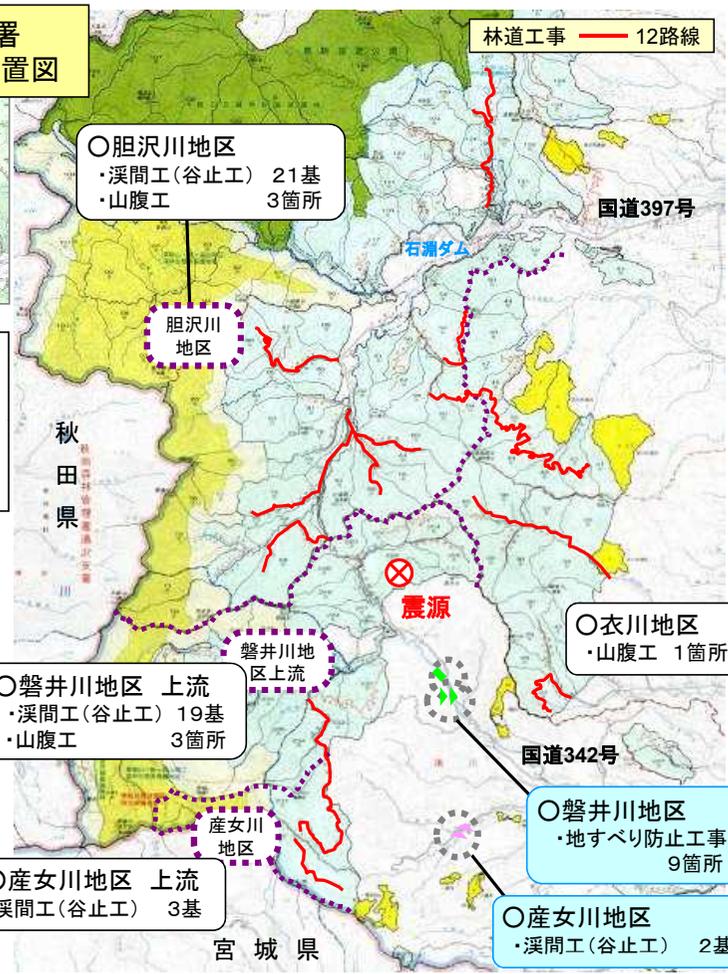
平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成27年度末までに、国有林治山事業で溪間工43基、山腹工7箇所、民有林直轄地すべり防止事業で溪間工15基、山腹工9箇所、林道災害復旧事業で12路線を整備しました。



岩手南部森林管理署 主要災害復旧箇所 位置図



岩手・宮城内陸地震の記録
2008年6月14日 午前8時43分頃発生
地震の規模 M7.2
最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
震源地 岩手県内陸南部
地震の深さ 約8km
山腹崩壊箇所 1,260箇所
(岩手県内、H20東北森林管理局調べ)



- : 国有林
- : 国有林野内治山災害関連緊急事業・国有林野内直轄治山施設災害復旧事業
- : 直轄治山災害関連緊急事業・磐井川地区民有林直轄地すべり防止事業

○磐井川地区(市野々原)

地震によって市野々原地区では、磐井川の右岸で大規模な地すべり(約20ha,移動土砂360万m³)が発生し、磐井川を150mに渡って塞ぎました。地すべり土塊は対岸にぶつかって止まりましたが、地すべり地内には大量の不安定土砂や倒木等が発生しました。上流側に形成された土砂ダムが決壊するとこれらの土砂が土石流となって流下し、下流域に甚大な被害を及ぼす危険がありました。

対策工として、地すべり地内の不安定土砂を取り除き、斜面下部で押さえ盛土とし、地すべりを安定化させるとともに森林に復旧させるために緑化を行いました。

平成27年度 工事施工箇所

民有林直轄地すべり防止事業では平成27年度は山腹工を中心とした工事を施工しました。あわせて、排水トンネル工の補修工事についても進めており、完成に至ったところです。

ニゴリ沢第一工区(H27) [山腹工(簡易法砕吹付工)]



小股沢(H27)排水トンネル補修 [地すべり防止工事]





平成28年度 施工箇所

平成28年度は、国有林治山事業で平成26年度から進めている溪間工（鋼製スリット谷止工）のスリット箇所を施工しました。(①)
 民有林直轄地すべり防止事業については、既設集水井工の補修と表面排水を目的とした水路工の設置は設計等の一部見直しにより、鋼製枠護岸工のみの工事となりました。(②)

① 産女川治山工事(H27)
 [溪間工(鋼製スリット谷止工)]
 国有林治山事業

地震により発生した土石流の影響から当該溪流に大量の土石等が堆積しているため、下流域への流出を防止することを目的に、平成26年度から鋼製スリット谷止工の建設を進めているところです。
 今年度はスリット部本体に着手し、11基のスリット部材を設置しました。



現況 左岸側下流より



現況 下流域からUAVによる空撮

② ニゴリ沢第一工区治山工事(H28) [鋼製枠護岸工]
 民有林直轄地すべり防止事業

H27年度に山腹工（簡易吹付法枠工とカゴ枠土留）を施工した山腹斜面最下部に位置する溪流に山脚固定と溪岸鋼製枠護岸工を施工すべく、8月中旬に着手しました。現在は護岸工が完成し、昨年度施工の山腹工（簡易吹付法枠工とカゴ枠土留）とともに本箇所の安定を向上させました。



現況 H27山腹工とH28護岸工の全景



現況 下流より H28.10月撮影



現況 上流より H28.10月撮影